

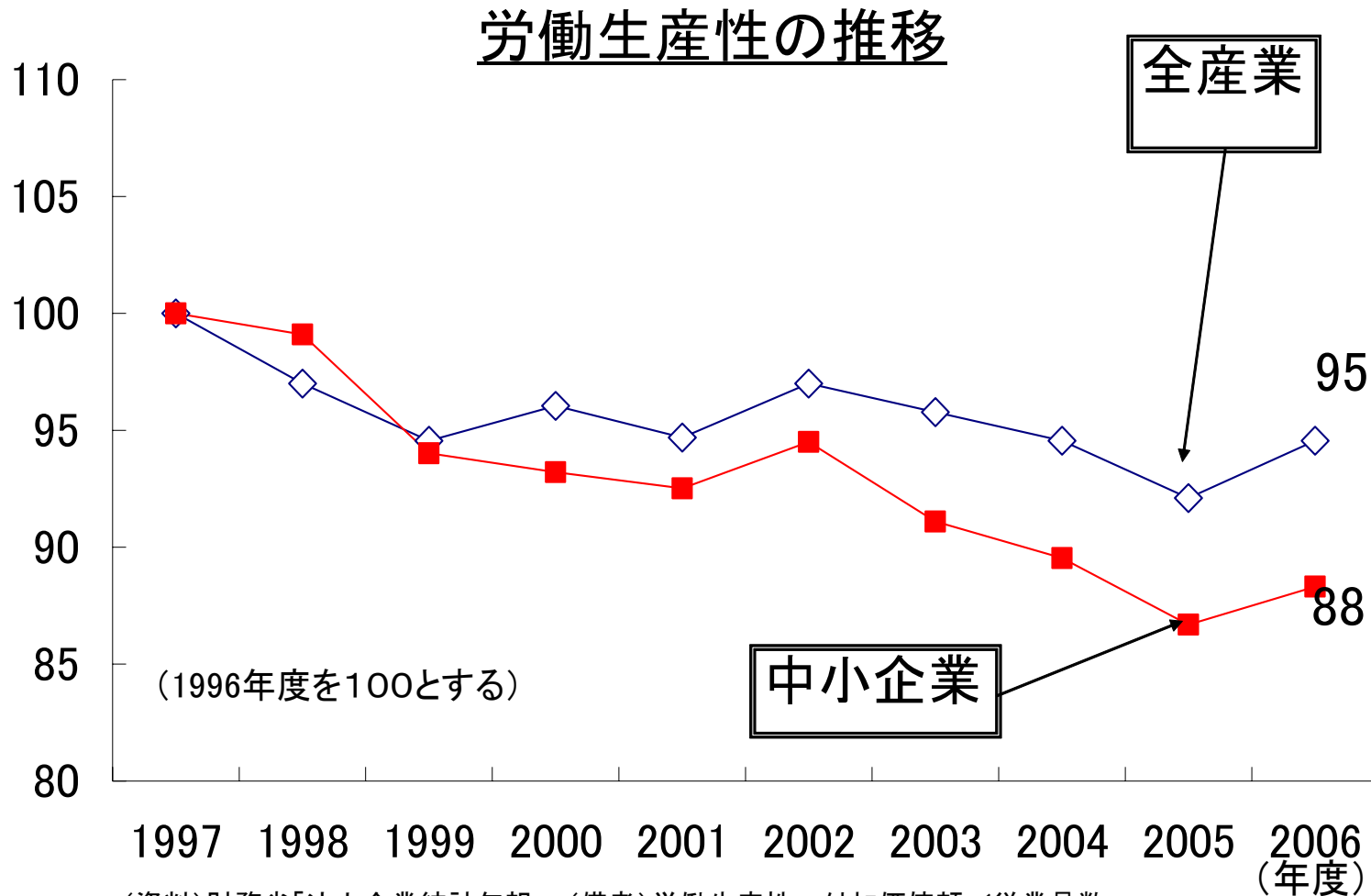


経済産業省が推進する中小企業向け SaaS事業（J-SaaS）について

～中小企業のIT活用による生産性向上～

平成21年3月9日
経済産業省
情報処理振興課

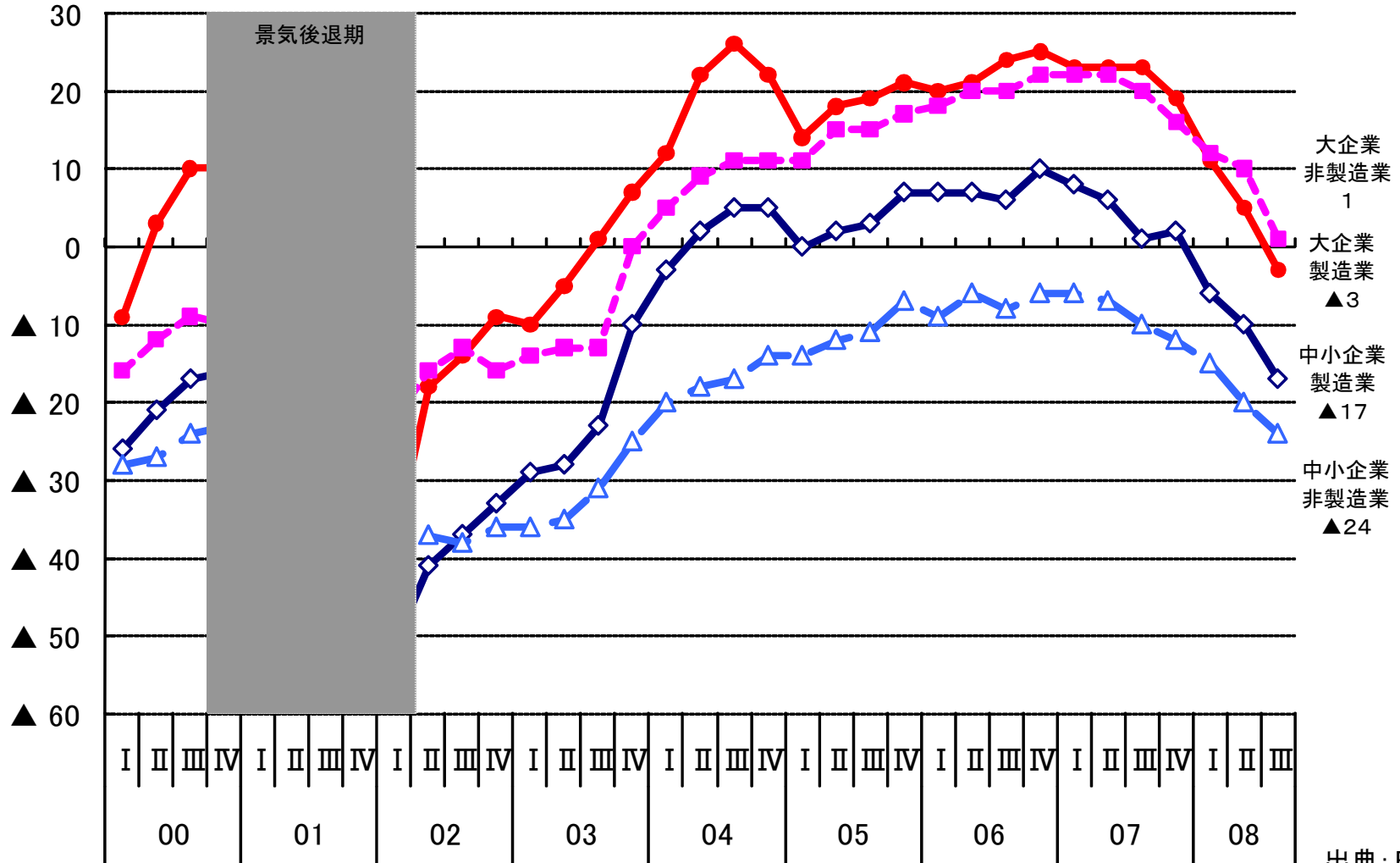
○中小企業の生産性は相対的に低迷。



(資料)財務省「法人企業統計年報」(備考)労働生産性=付加価値額/従業員数
(注)大企業:資本金1億円以上、中小企業:資本金1億円未満

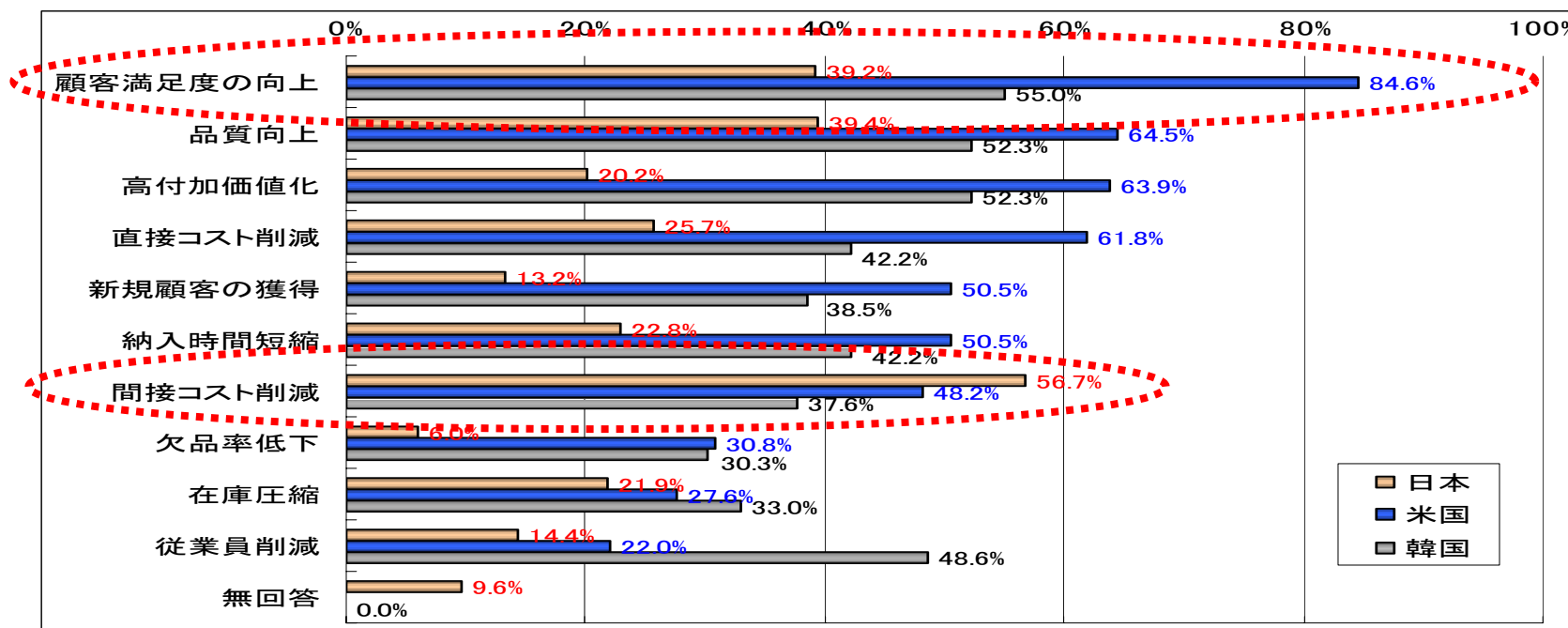
○特に中小企業の景況感が急速に悪化。

業況判断DI(前期比季節調整値)



○日本は「間接コストの削減」をIT投資の主たる目的としているのに対し、米国・韓国では「顧客満足度の向上」を一番に挙げている。

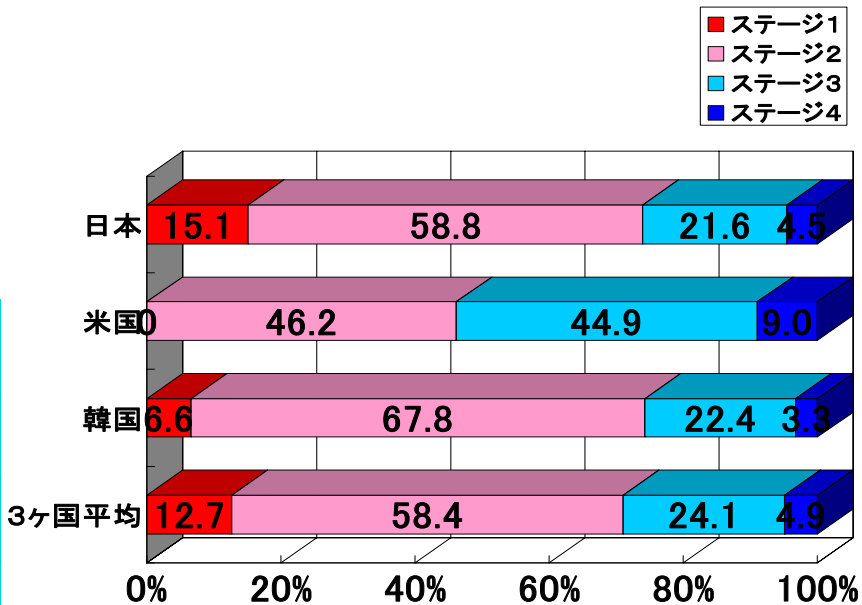
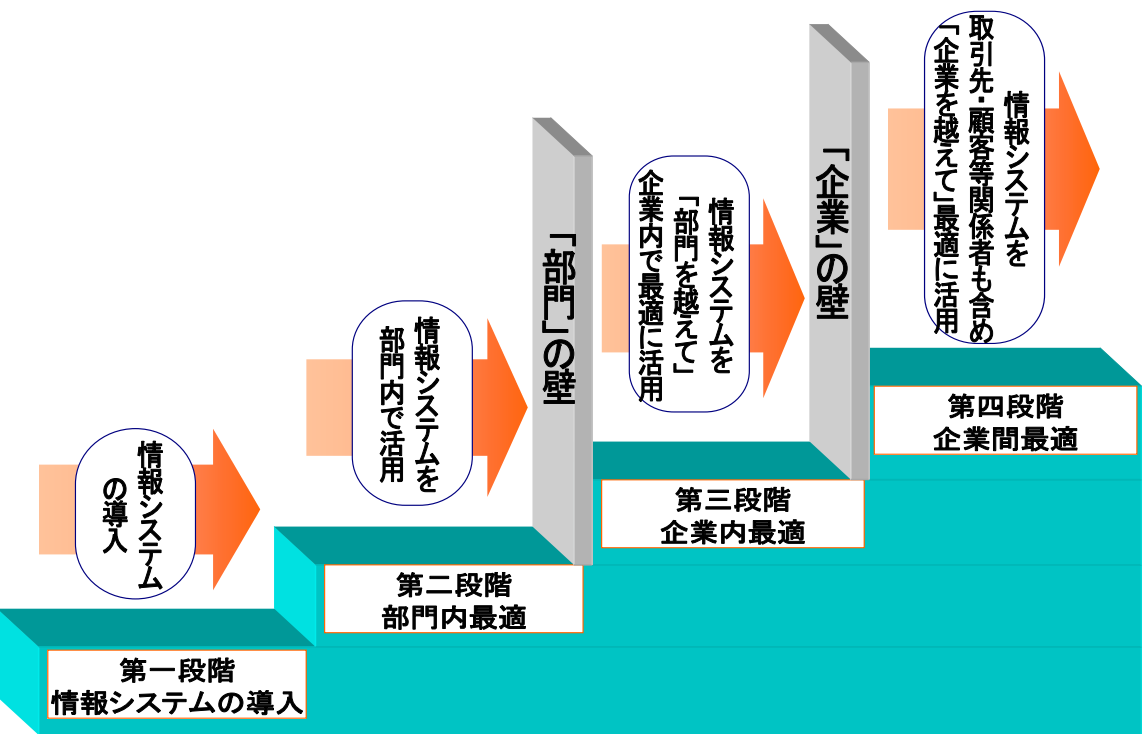
IT投資目的（日本・米国・韓国の比較）



出典：経済産業省、ガートナー

日・米・韓のITステージの現状

日本のITステージの現状は、今なおようやく「第2段階」



出典：経済産業省『IT経営力指標』を用いた企業のIT活用にに関する現状調査（平成19年3月）

・IT経営実践企業（ステージ3以上）の割合は日本では26%、米国では54%となっており、日本企業のIT活用度合いは米国と比べると遅れている。

・韓国は日本とほぼ同じ傾向を示しているが、ステージ1の割合が日本と比べて低い。

■ 小規模企業のIT経営デバイド

- 中小企業の中でも、20人以下の企業とそれ以上の企業との間で、IT格差はますます拡大。
- 従業員数20人以下の企業については、IT企業の側も、販売管理費用等との見合いから、ターゲットとしにくく、IT経営デバイドをますます加速。

●既存のソフトウェアおよび利用ソフト

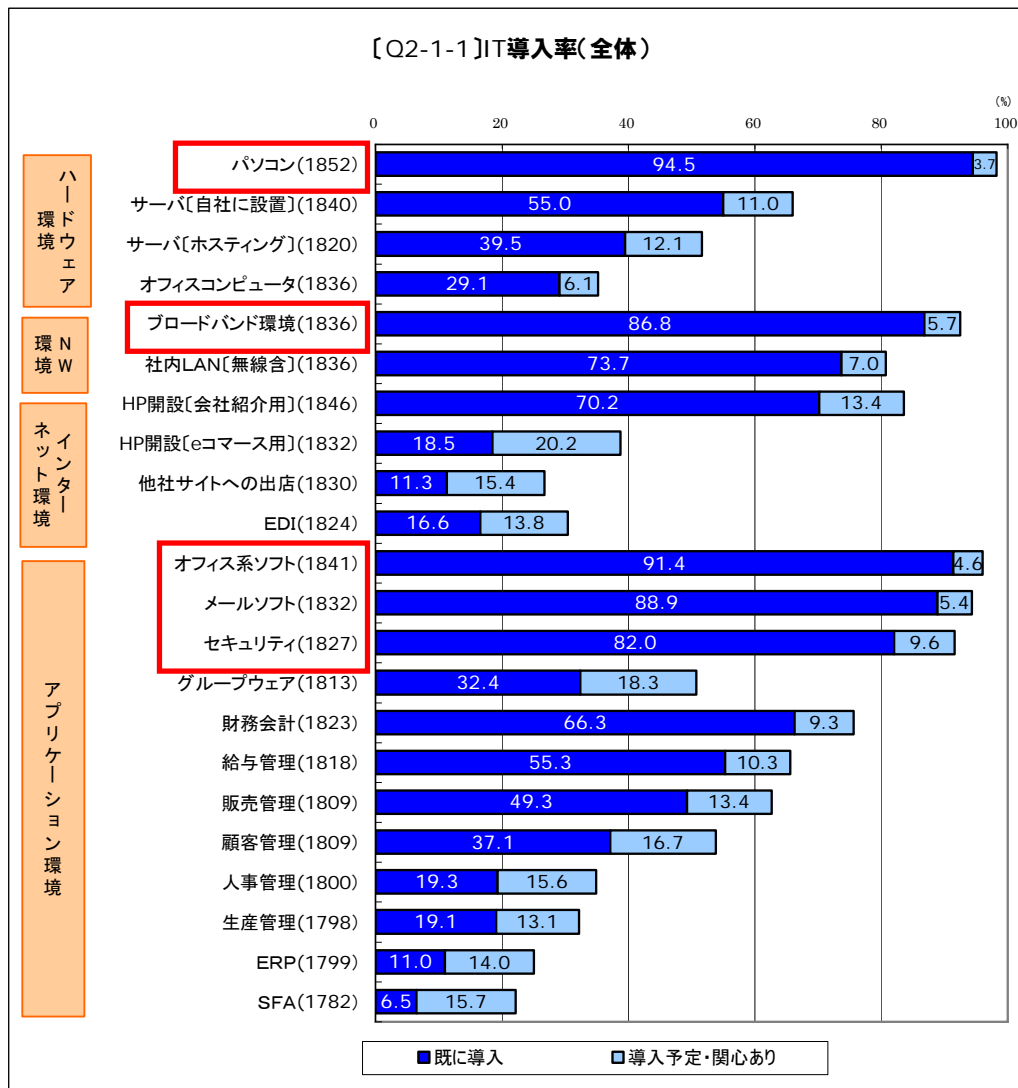
約372万社:平成18年中小企業実態基本調査

Seq.	IT活用内容	大規模(50~数百人:1.8%)	中堅(21~50人:3.2%)	中規模(6~20人:10.9%)	小規模(5人以下+個人:84.2%)
1	電子メール	○		○(無料Webメール)	
2	ホームページ	○	△(50%)	△(10~20%)	×
3	グループウェア	○		△(10~20%)	×
4	オフィス系	○		△(10~20%)	
5	給与計算	○		×	
6	財務会計(税務)	○		△(50%)	×
7	販売管理	○		△(50%)	×
8	仕入在庫管理	○		×	×
9	EDI(受発注)	○(※個別システム)	○(※Web EDI)	×	×
10	CRM・SFA	○	△(30%)	×	×
11	ERP	△(10~20%)	×	×	×

調査資料:富士キメラ総研2007パッケージソリューション・マーケティング便覧他

※上記導入状況は、調査資料とヒアリング調査等のデータを基に類推

○従業員数20人付近にIT普及の壁。



【従業員数別IT導入率】

	20人未満	20人～49人	50人～99人	100人以上
パソコン	91.8	95.6	96.7	97.3
サーバ[自社に設置]	30.1	60.2	75.0	86.8
サーバ[ホスティング]	28.7	42.8	46.0	54.1
オフィスコンピュータ	17.5	34.3	34.0	45.2
ブロードバンド環境	80.2	90.1	92.7	92.8
社内LAN[無線含]	57.0	81.9	84.7	92.3
HP開設[会社紹介用]	55.0	75.7	80.1	89.3
HP開設[eコマース用]	18.2	18.5	18.9	18.9
他社サイトへの出店	10.7	10.2	12.6	12.4
EDI	7.6	16.6	23.2	30.6
オフィス系ソフト	86.8	93.4	97.3	94.7
メールソフト	85.0	90.4	93.3	92.2
セキュリティ	74.8	82.9	89.0	90.9
グループウェア	16.7	31.9	38.5	61.5
財務会計	49.4	70.7	83.2	84.4
給与管理	27.5	69.6	81.1	79.9
販売管理	37.3	54.4	54.4	65.6
顧客管理	30.1	38.4	42.8	46.2
人事管理	7.4	17.8	23.5	42.9
生産管理	10.2	19.3	25.7	32.6
ERP	5.1	12.4	14.0	19.6
SFA	2.7	6.6	5.5	15.1

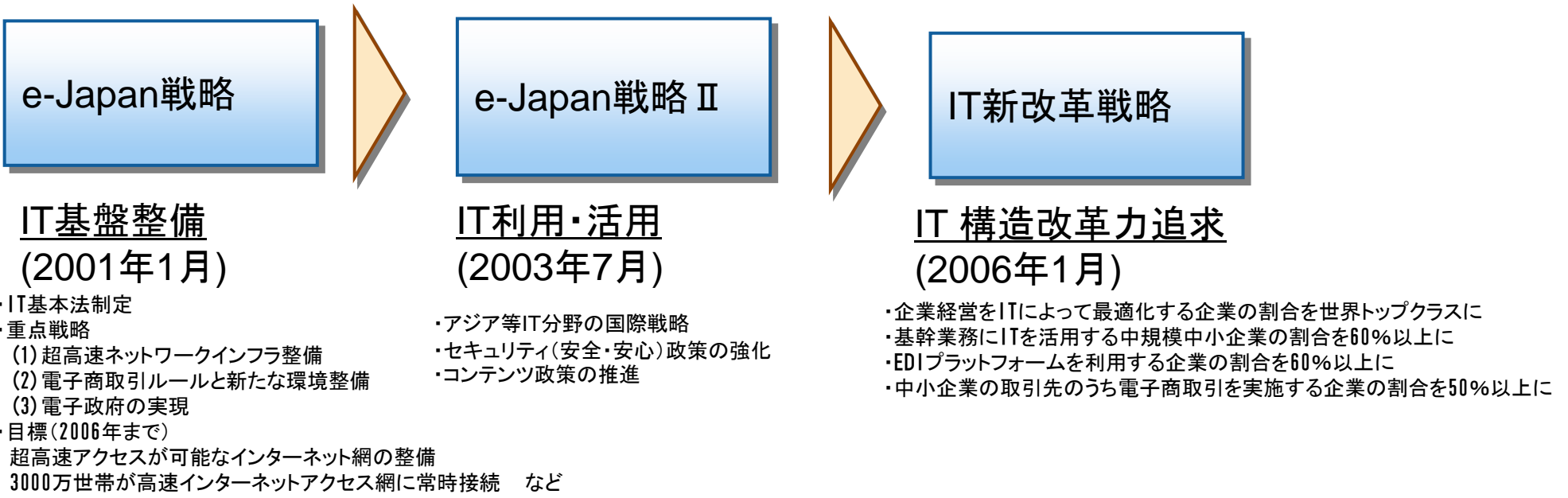
■ 75%～100% ■ 50%～74.9% ■ 25%～49.9%

ハード、ソフトの購入により、初期投資額が高額

高度なITスキルが必要となる。
(システムの導入や保守のため)

セキュリティ対策やデータ管理まで手が回らない



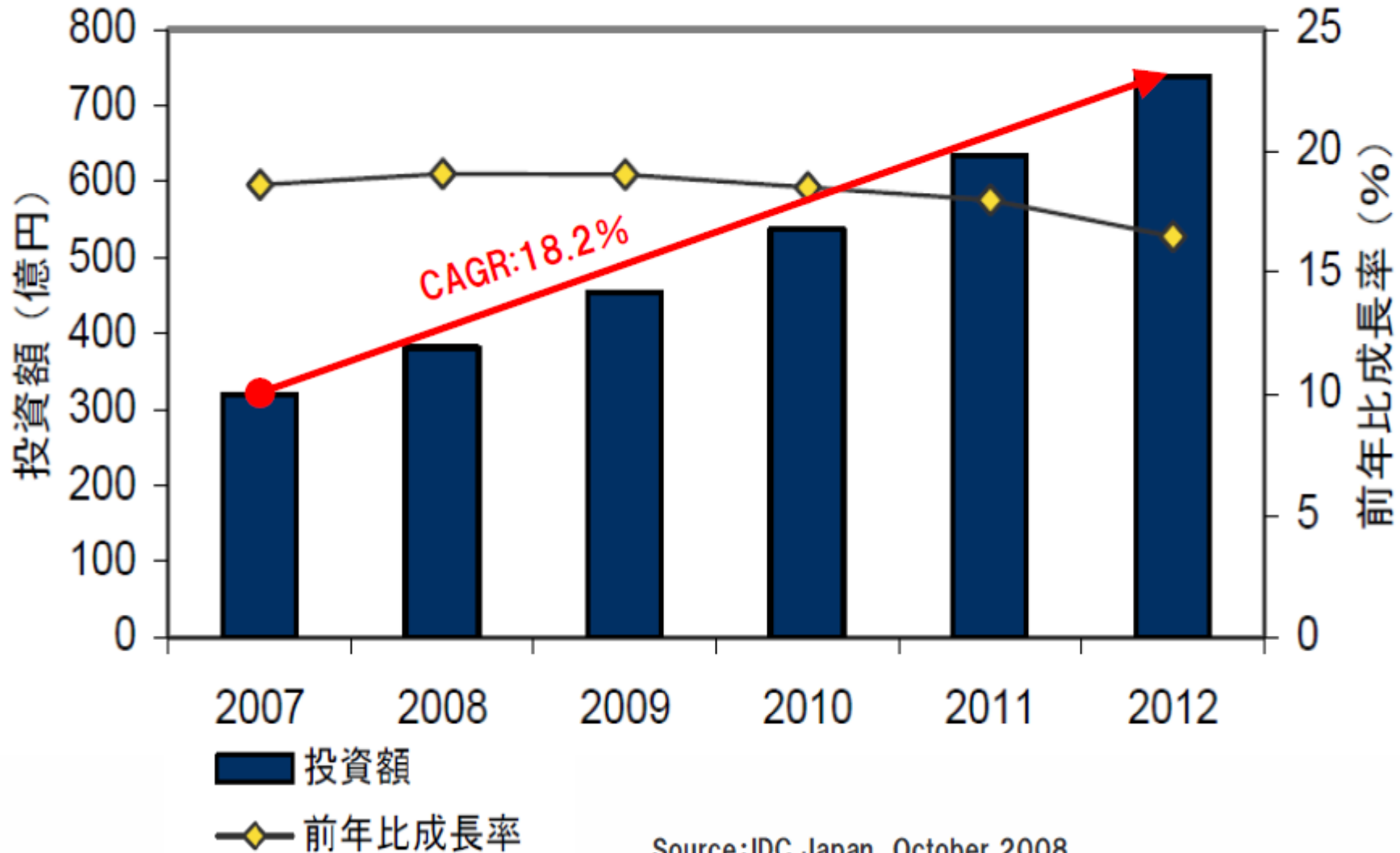


成長力加速プログラム

IT革新

- ・ITによる生産性向上(一部抜粋)
 - IT投資の「選択と集中」による効率性向上、組織を超えた情報共有促進などの環境整備
 - 業種や取引関係を超えた情報共有の仕組みの構築
 - (2010年度までに、国際的な標準と調和した電子商取引、電子タグなどの共通基盤を業種横断的に構築)
 - 中小企業のIT化を促進するために、IT導入の維持管理が手軽かつ低廉なコストで行える環境づくり。中小企業へのIT化支援、経営指導を拡充するとともに、**SaaSなど**
中小企業にとって使いやすい新たなサービス普及促進の環境整備

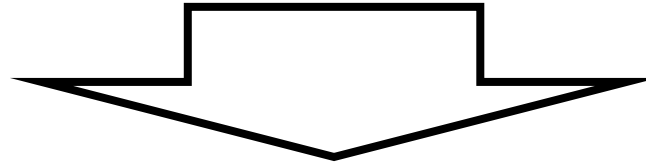
国内SaaS市場規模の推移 2007年～2012年



Source: IDC Japan, October 2008

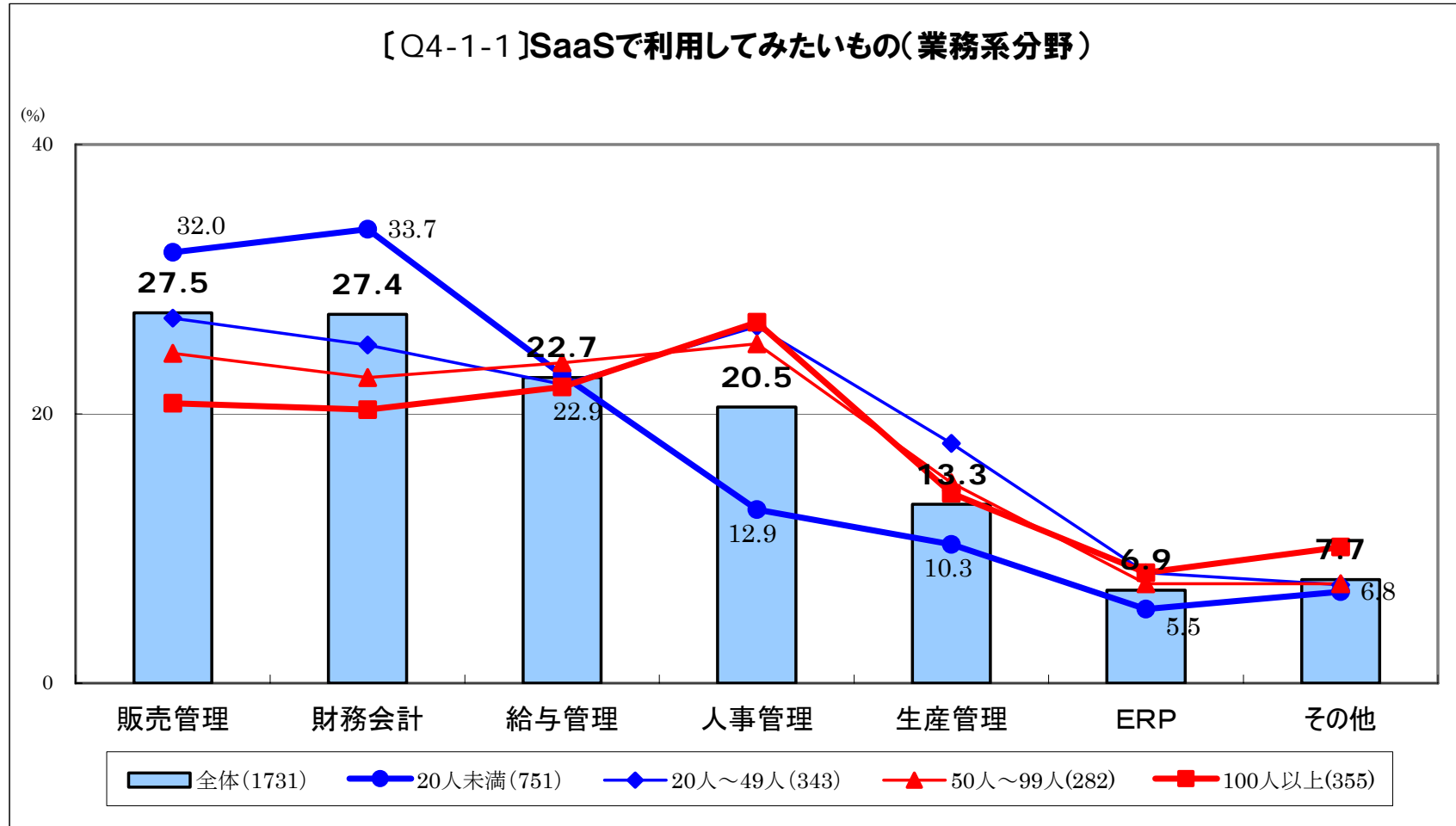
国内SaaS市場 2007年の実績と2008年～2012年の予測(J8380103)

- 初期導入の費用負担が少ない。
- IT人材・ノウハウがなくても利用できる。
- 必要なサービスを従量制等で購入できる。
- アップデート等の運用の負担が少ない。



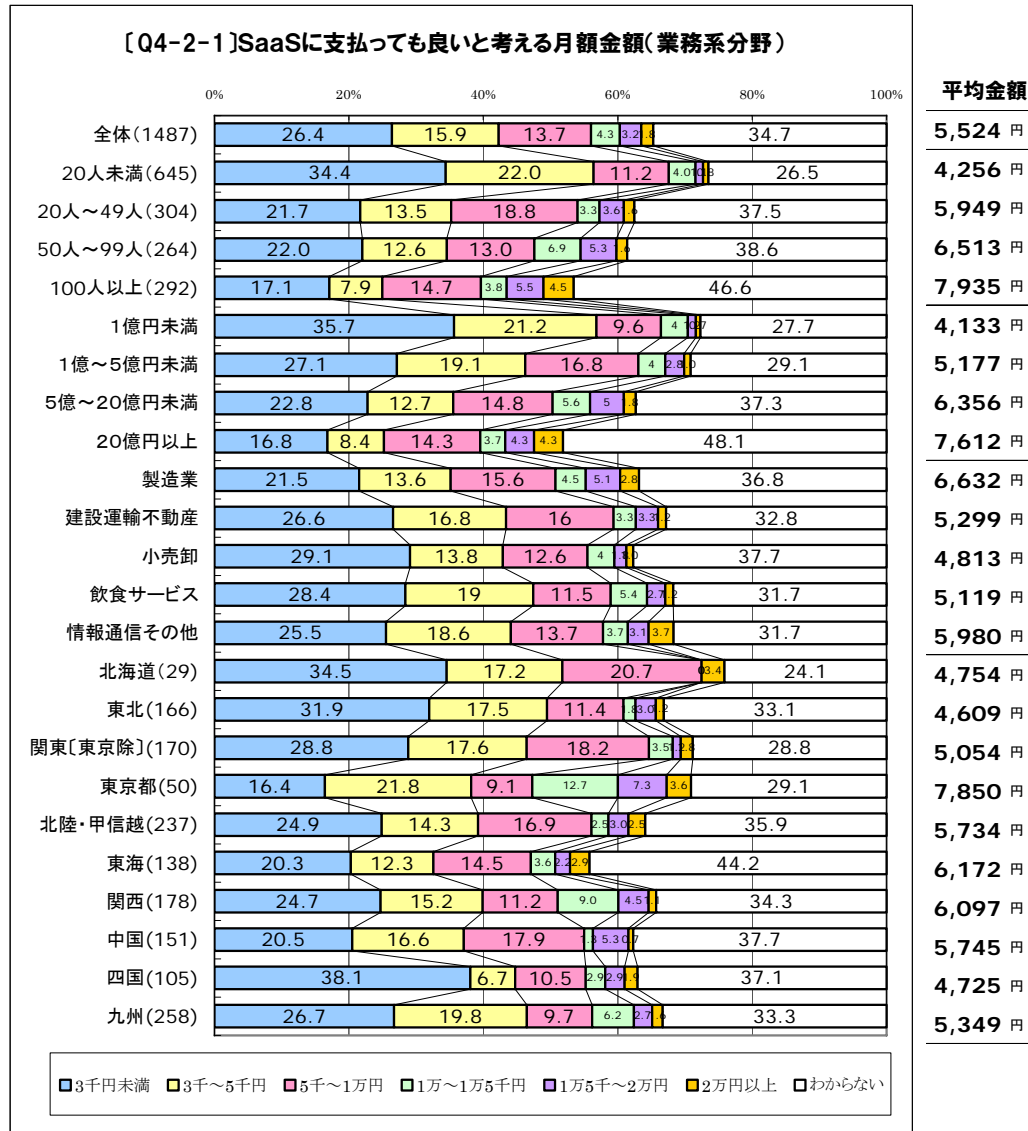
SaaSは中小・小規模企業のIT化のカギ

○中小企業がSaaSで利用してみたい分野は財務会計、給与管理など。



出典: 中小企業のIT活用に関する実態調査(経済産業省・IPA・商工会議所の協力による)

○小規模企業によるSaaSの月額利用料金の想定は3千～5千円。



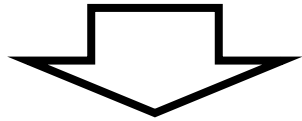
出典: 中小企業のIT活用に関する実態調査
(経済産業省・IPA・商工会議所の協力による)

■電子政府構築計画(H15.7)

- ・行政手続のオンライン化
- ・手続の簡素化・合理化
- ・ワンストップサービスの拡大

■IT新改革戦略(H18.1)

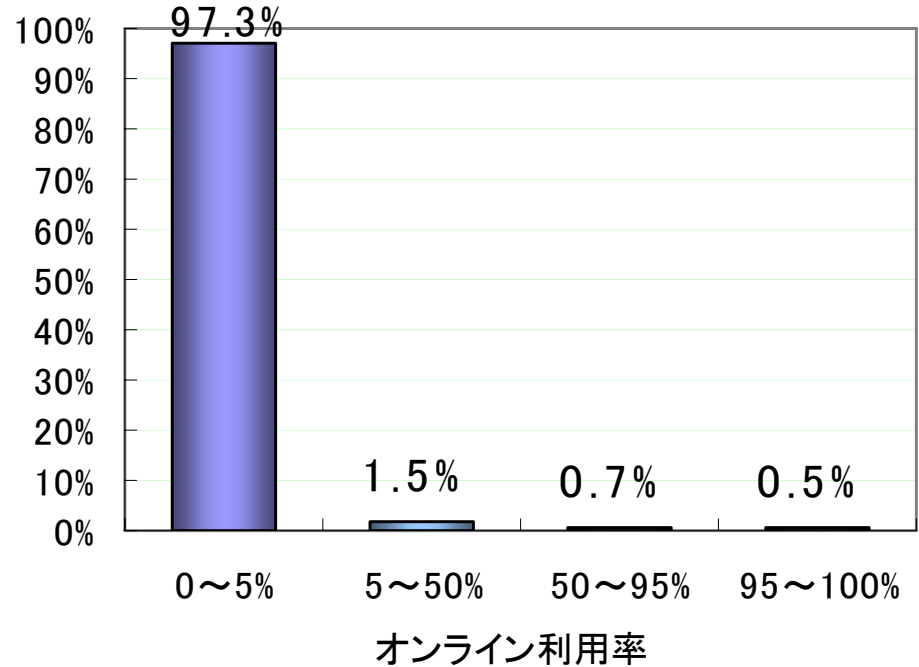
- ・2010年までにオンライン利用率を50%に



2006fyにおいて

- ・手続の電子化率は95%以上
- ・オンライン利用率は約15%

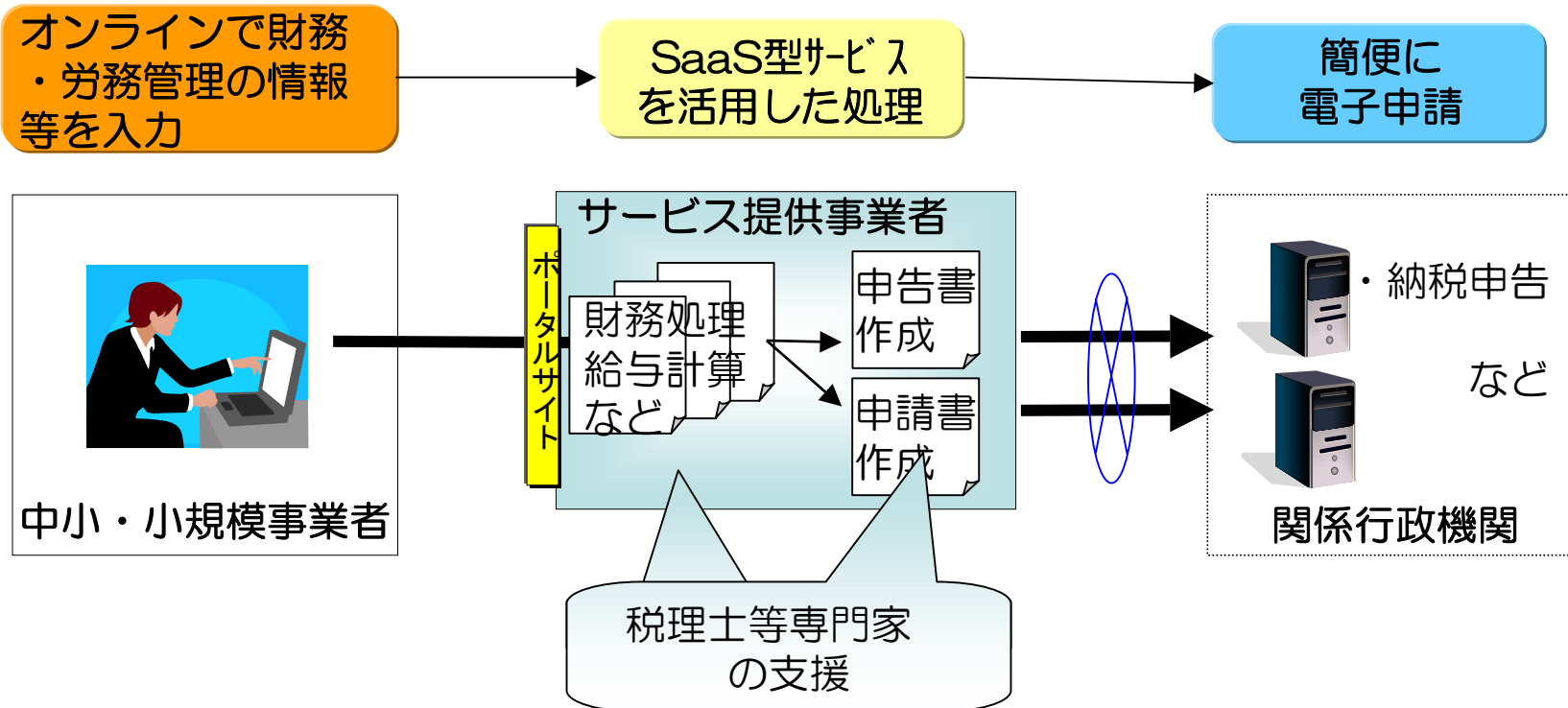
国の手続の数の分布(2006fy)



- 主に従業員数20人以下の小規模企業を対象として、財務会計などバックオフィス業務から電子申告までを一貫して行える、便利なワンストップサービス（SaaS活用型サービス）を官民連携して構築・普及。
- 中小企業の会計力・経営力向上と電子申請の活用を同時に促進。

➤ SaaS※（Software as a Service）型サービスを活用した業務インフラの普及

※インターネット経由で情報処理を行うサービス



中小企業が共通ポータルサイトを通して、必要なアプリケーションを利用できる。
各種データは、サーバ上に保存することが可能。

サポーター



ITに関する支援

オンライン
・ 安価
・ 簡便
・ 安全



帳票入力

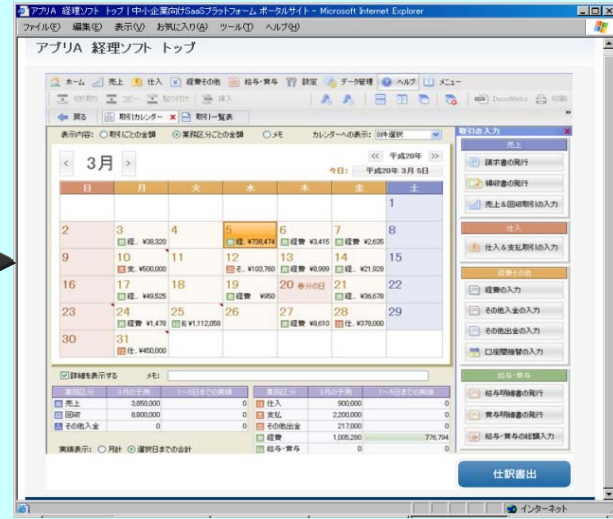
中小・小規模
事業者

共通ポータル

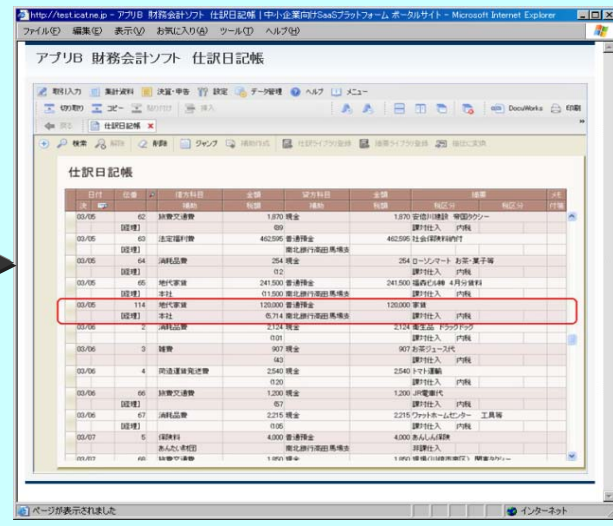


- ・ 共通のUI
- ・ データ連携
- ・ シングル・サイン・オン

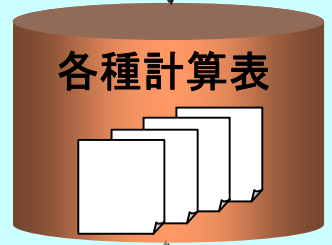
経理アプリ(スケジュール帳)



財務会計アプリ(仕訳日記帳)

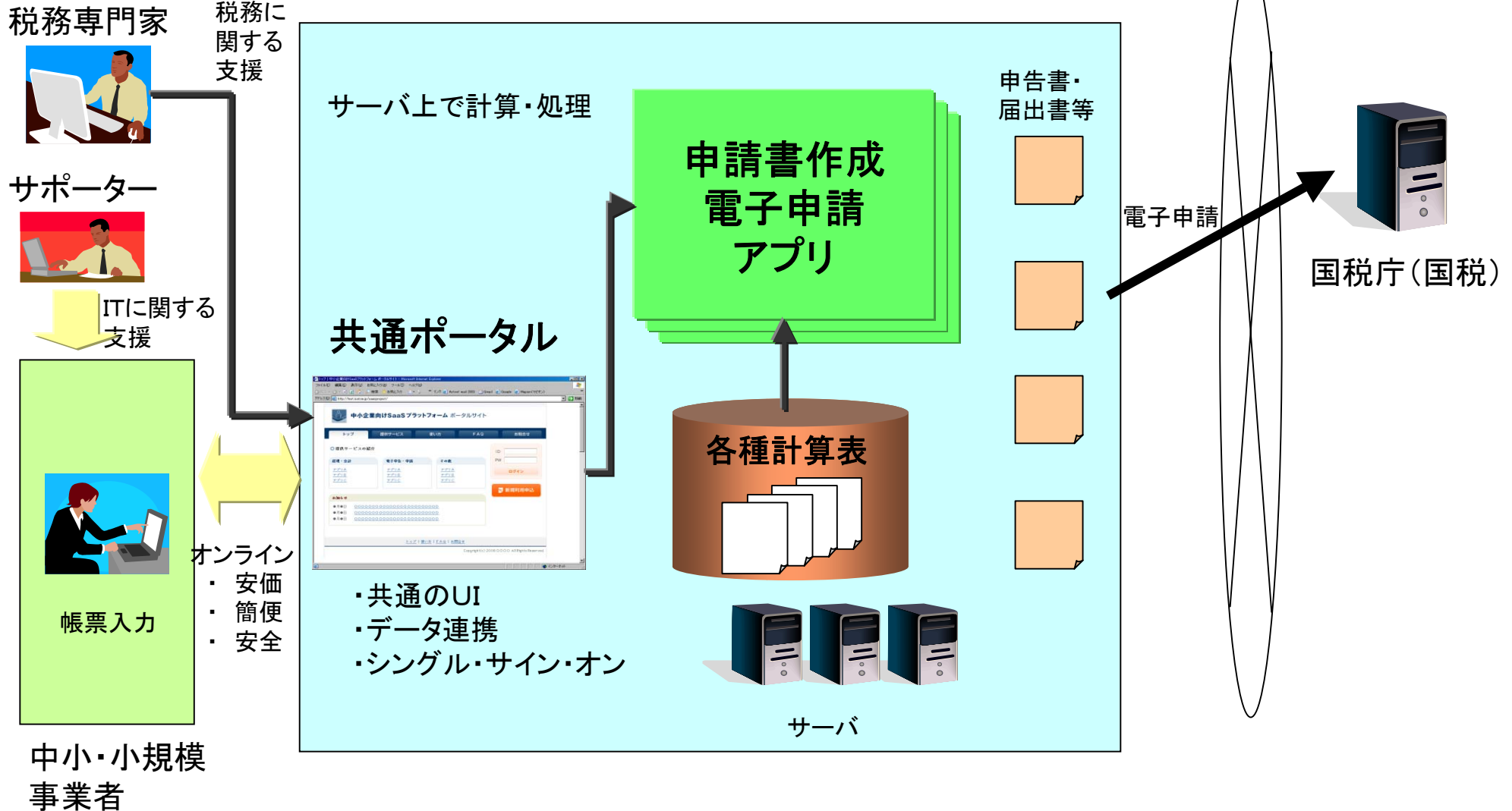


サーバ上にデータを
保存



サーバ

企業が財務・業務管理として入力した情報を利用して、国税等の申請書作成を、
税務専門家等のサポートを受けながら、作成ができる。



The screenshot shows the J-SaaS portal interface. At the top, there's a navigation bar with '購入 (TOP)', '利用 (マイページ)', and 'サービスのご案内'. A user is logged in as 'J-SaaS 太郎 様'. A shopping cart summary shows 0 items and ¥0 total. A 'カテゴリ一覧' (Category List) sidebar contains links for '財務会計', '給与計算', '経理', '販売管理', '税務申告', '社会保険等手続', 'グループウェア', 'セキュリティ管理', 'プロジェクト管理', '経営分析', 'インターネットバンキング', and 'その他'. Below this is a 'ヘルプ' (Help) section with links for '会員登録について' and '購入方法について'. The main content area is titled '購入 (TOP)' and features a photo of office workers. Below the photo is a section 'J-SaaSとは' (What is J-SaaS) and '取扱いアプリケーション一覧' (List of handled applications). The application list is filtered by '財務会計' and shows two entries for 'AAA財務会計 | ショップAAA'. Callouts on the right link specific categories to their respective services: '財務会計', '給与計算', 'グループウェア', '税務申告', and '販売管理'.

ショッピングカート
購入のために選択したサービスがある場合に
表示されます。

カテゴリ一覧
サービスの詳細を表示させるリンクです。

初めての方へ
購入方法の説明画面へのリンクです。

財務会計

給与計算

グループウェア

税務申告

販売管理



アプリケーション

(株)アークインターナショナル
アースインターシステムズ(株)
ウイングアークテクノロジーズ(株)
(株)NTTデータ
(株)エムケイシステム
(株)オービックビジネスコンサルタント
ガーデンネットワーク(株)
クオリティ(株)
(株)スマイルワークス
ソリマチ(株)
(株)タイガー
(株)TKC
日本ビズアップ(株)
(株)ネオジャパン
(株)ビーイング
ビジネスオンライン(株)
ビズソフト(株)
(株)豆蔵
(株)みずほ銀行
(株)ミロク情報サービス
弥生(株)
ラクラス(株)

経営分析

財務会計

税務申告

インターネット
バンキング

グループウェア

給与計算

社会保険等手続

セキュリティ管理

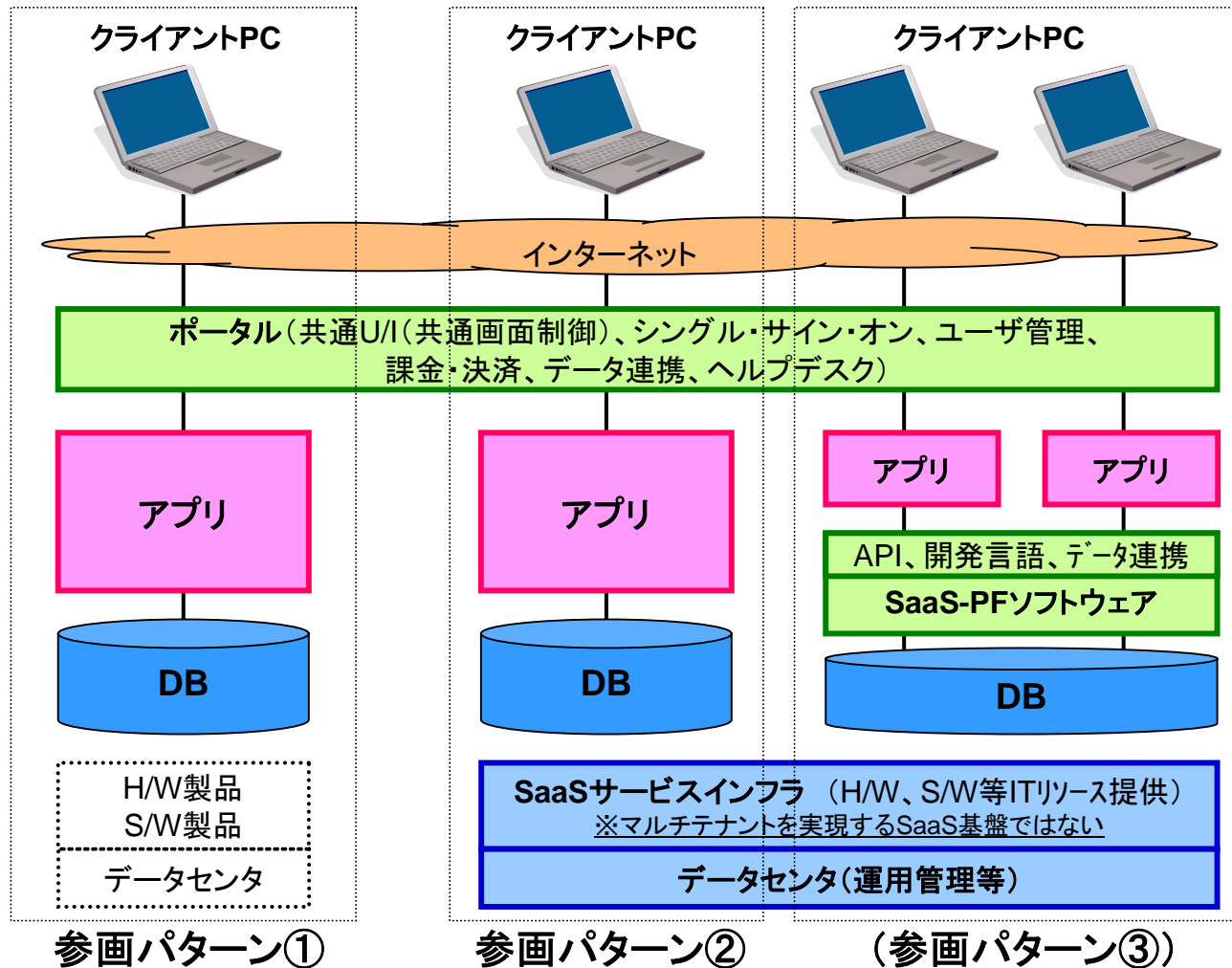
販売管理

経理

SaaSシステム

富士通(株)

- アプリケーションベンダの意向に応じて複数パターンのインフラを構築。
- 共通ポータルは、シングル・サイン・オン、課金・決済、ユーザ管理、サービス間データ連携などの機能を持つ。



○データ連携方式

- ・異なるサービス間でのデータ連携を実現。
- ・各アプリがAPIを介してデータを一括して連携する方式。連携のための中継サーバ、データ変換機能は基盤システムで実現。
- ・通信プロトコルはhttpsに対応。インターネットで通信する場合にはSSL等で通信を暗号化。
- ・データ連携基盤では、人名漢字(外字を除く)に対応できるレベルを実現。
- ・実際にどのサービスと連携するかは、アプリベンダ同士で決定。

○データフォーマット

- ・連携するデータは、財務会計データ、給与データ、ユーザマスタ。
- ・データ項目とフォーマットの標準は、XBRL、XML標準等を取り入れながら策定。

○SaaSの普及を図るため、サービス提供者と利用者間で合意することが望ましいサービス内容とその具体的な設定例を提示。(H20.1)

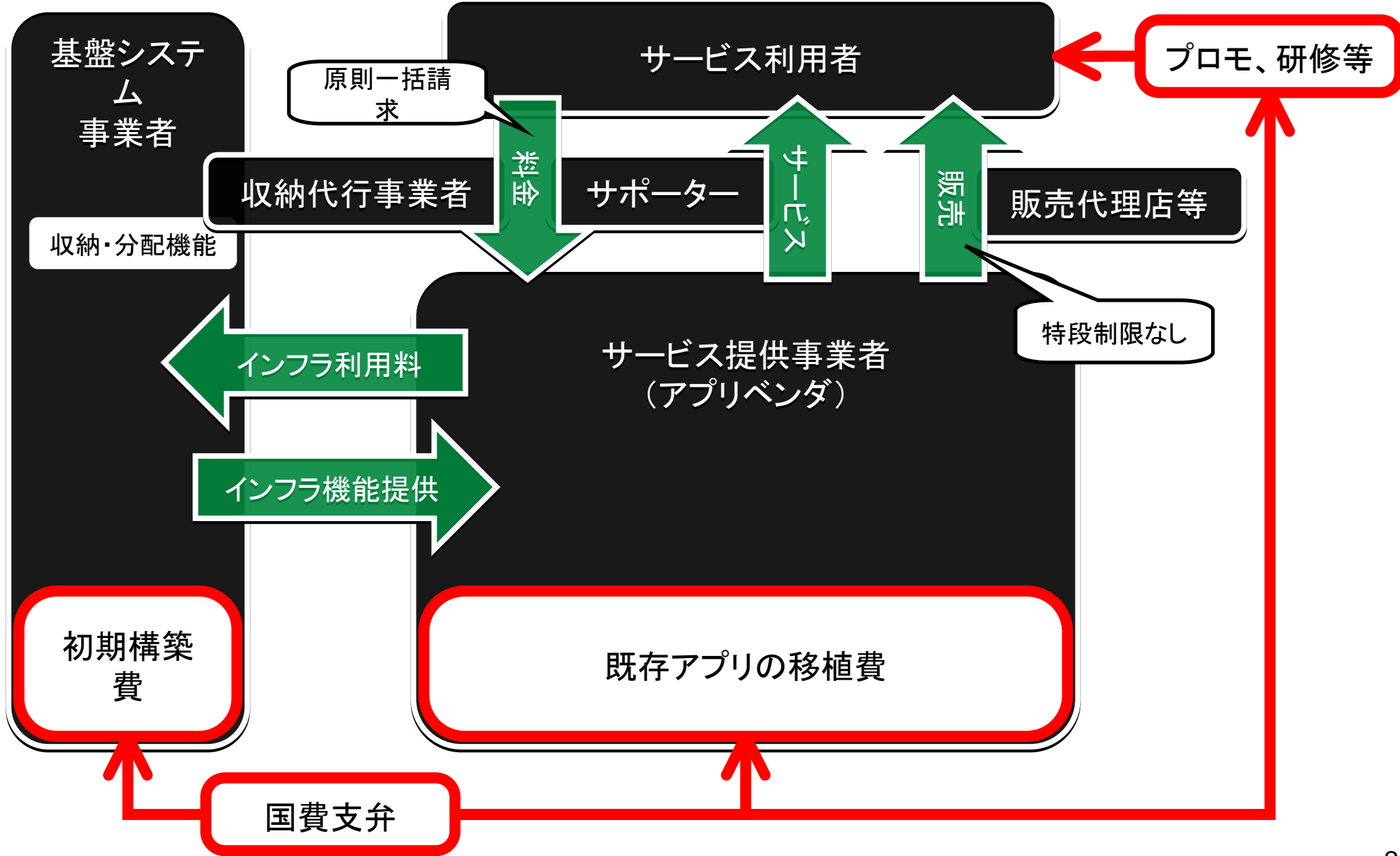
○具体的な設定項目は以下。

- ・サービス稼働率
- ・障害復旧時間
- ・サポート提供時間
- ・バックアップデータの保存期間
- ・セキュリティレベル など

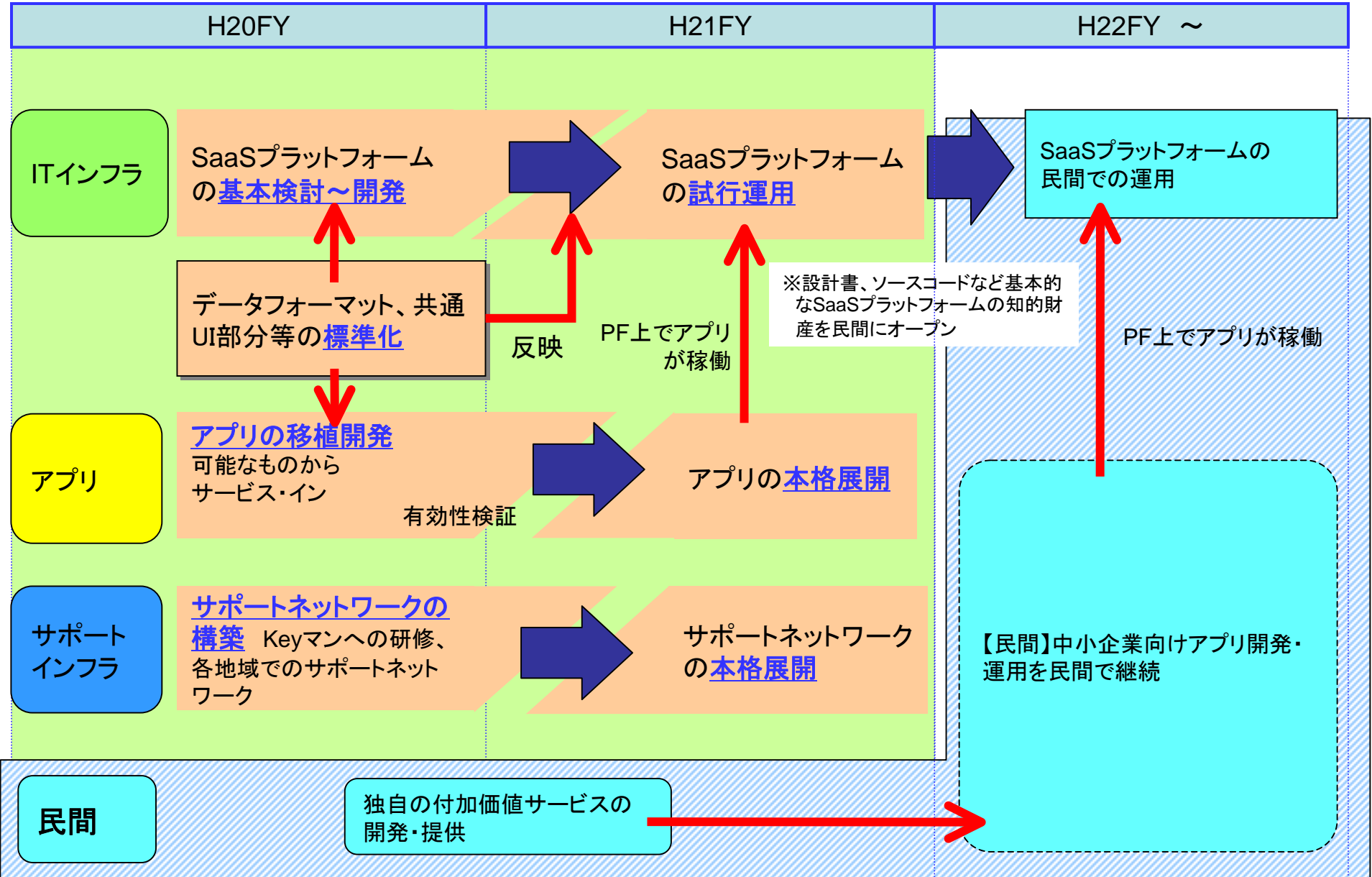
○セキュリティレベルの設定では、ISMSやプライバシーマークなどの取得を推奨し、国際標準との整合も考慮。

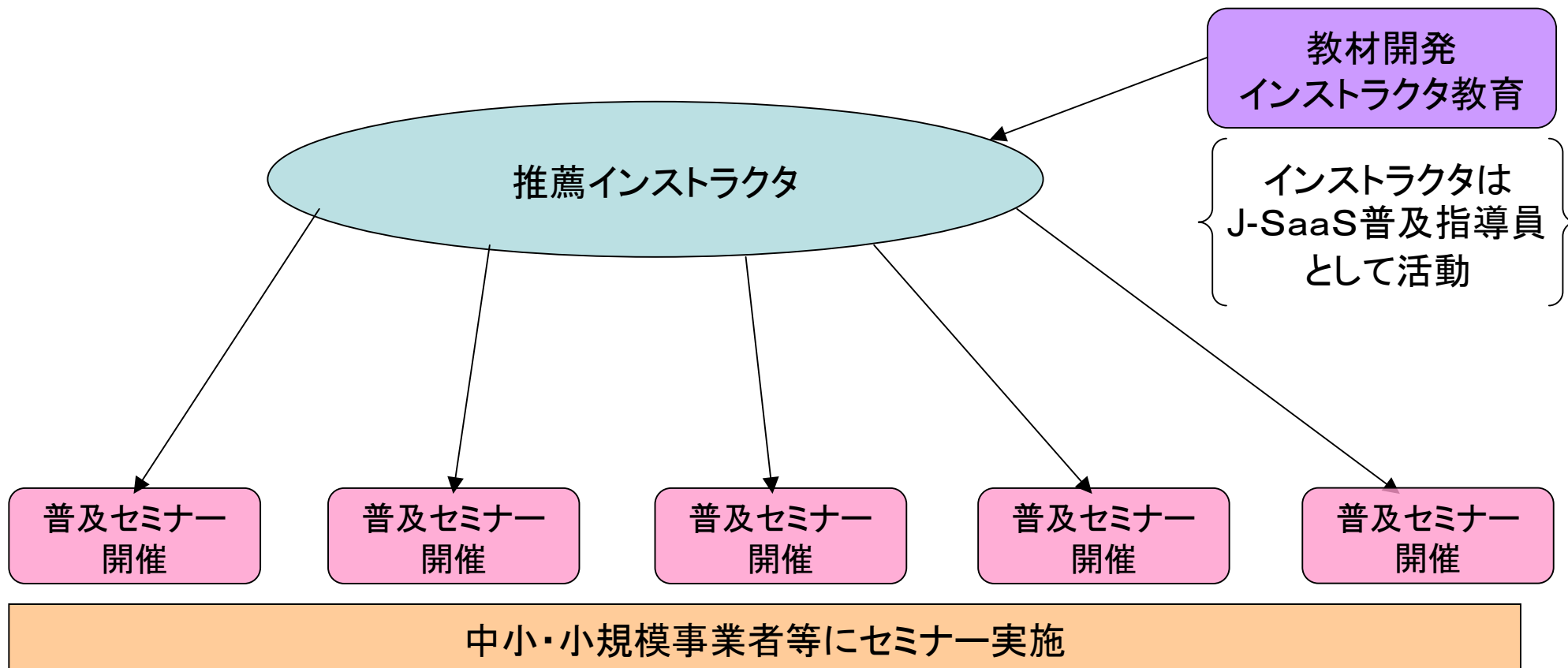
サービス時間	24時間365日（保守等計画停止を除く）
サービス稼働率（計画停止時間を除く）	99.6%
サポート時間	受付時間： （電話）9:00～17:00 土日祝日及び休業日を除く （メール）24時間365日受付
平均仮復旧時間	6時間
システム監視基準	1時間毎の稼働確認（H/W、ネットワーク）
障害通知時間	3時間以内
オンライン応答時間	平均応答時間3秒以内（データセンタ内）
バックアップの方法	週次でフルバックアップ。日次で差分バックアップ
データ消去の要件	サービス解約後1ヶ月以内にデータ及び外部保管媒体を破棄。
セキュリティ要件（公的認証取得の要件）	I S M S 認証取得、プライバシーマーク取得。
セキュリティ要件（アプリケーションに関する第三者評価）	年1回、サービスの脆弱性に関する評価を行い、指摘事項に対して対策を実施し、利用者に報告する。

ビジネスモデル(予定)

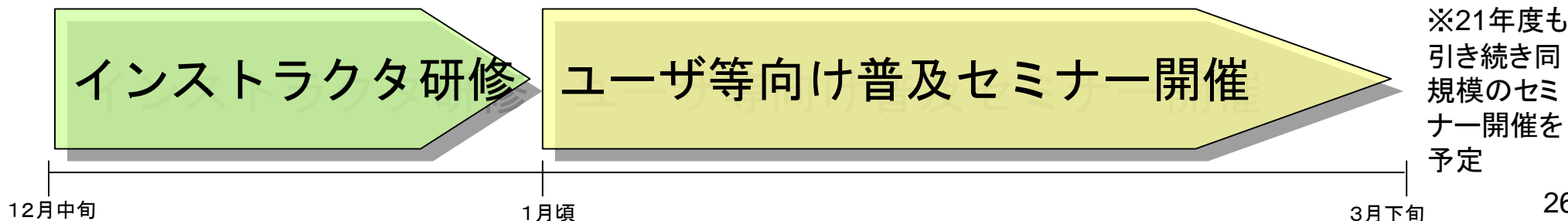


事業の展開予定(案)





<スケジュール>



- 全国各地でJ-SaaS普及指導員を講師とするセミナーを実施。
- 受講希望者、開催希望者を随時募集中(2009年3月25日まで)。



J-SaaSは、主に中小企業を対象に、財務会計などバックオフィス業務から電子申告までを一貫して行える、便利なワンストップサービス(SaaS活用型サービス)です。

J-SaaSセミナー開催情報 <日程順>

(セミナー参加希望の方は各開催主体にお問い合わせください)

エリア別表示

▶ **J-SaaS活用セミナー**

日程 : 2009年 2月 24日 13:30 ~ 14:30

会場 : DocumentHubSquareNagoya

開催地 : 愛知県 最寄り駅 : 名古屋市宮地下鉄 伏見駅

開催主体 : 富士ゼロックス愛知株式会社

[詳細を見る ▶](#)

▶ **MIPS長野パソコンスクール会員J-SaaS講習会**

現在までのJ-SaaS研修受講者数
4,447

**J-SaaS普及研修会の
開催を希望される方へ**

J-SaaS普及指導員の方へ

J-SaaS普及指導員の方はこちらからログインをしてください。
教材のダウンロード、連絡事項の閲覧等ができます。

[▶ ログインページ](#)

- 2009年3月19日、東京丸ビルホールにて日経新聞社主催のイベントを開催。講演、パネルディスカッション、デモ展示を実施。
- 札幌、仙台、千葉、横浜、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡にて全国キャラバンを開催。講演、パネルディスカッションを実施。

J-SaaSフォーラム

SaaS活用による企業の生産性向上・競争力強化をめざして

企業における生産効率の向上・経営課題の解決に、不可欠となったITの導入。その恩恵はもはや大企業だけのものではなくなっています。ネットワーク経由で最新のソフトを利用できるSaaS (Software as a Service) も注目を集めています。

今回のフォーラムでは、2008年度の経済展望や市場動向などの情報もまじえて、企業のIT活用を推進する、「J-SaaS」とその活用方法をご紹介します。

J-SaaS全国キャラバン

東京以外の全国10都市でも『J-SaaS』に関するセミナーを開催中。

[詳しくはこちらから](#)

J-SaaSセミナー開催情報

J-SaaSに関する研修を全国で無料で展開中です。

[詳しくはこちらから](#)

開催日時:	2009年3月19日(木) 13:30~17:15
場所:	丸ビルホール(東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階)
開場:	12:30
参加費:	無料
定員:	350名

J-SaaSをぜひ試してみてください
2009年3月末からサービス開始(予定)

さまざまなサービスが
簡単に利用できる

少ない初期投資

ITの専門知識が不要

安心、安全な環境

充実したサポート

